

GREETING : 挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

近況報告



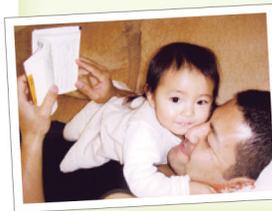
いつも、ありがとうございます。

先日、家内から「この本読んでみて」と一冊の育児書を手渡されました。アメリカで子育て番組を持つほどに有名で人気のある「カリスマ・ベビーシッター」が書いた本です。

半信半疑で読み始めたのですが、「なるほど!」という気付きがたくさんありとても勉強になりました。自分自身もかつては赤ちゃんだったはずですが、大人になってしまうと日々、体も行動も変化する赤ちゃんの頭の中で起こっている変化はわかりづらいものです。

娘のさくらはまだ2歳になりますが、少しずつ言葉も覚え始め、活発になり、いたずらやわがままも出始めています。保育士さんの間では「魔の2歳」とも言うそうですが、わかっているつもりでもわかっていない娘の状況を理解するのに、いいタイミングでいい本と出会えたと思っています。

特に印象に残ったのは、「子どもがしゃべり始めると『小型サイズの強情なおとな』扱いをしよう親が多いが、子どもにはまだほんの一部分の世界しかできあがっていないことを忘れてはいけない」という言葉でした。つまり大人である自分の基準で子どもを見てはいけないということだと思います。言われ



てみると、子どものいたずらに思わず怒ってしまった自分がありますが、筆者は、「例えば子どもが戸棚からコップを落としてしまったとしても、それは①手が届いて ②誰も止めないからであり、決して親を怒らせようとしているわけでも、悪い子だからでもない」と言っています。生後6週間の赤ちゃんに誰も立つことを期待しないのと同じで、2歳の子どもの倍の年齢の子どもの能力を期待するのは無茶以外の何ものでもないのです。

結局、人間は自分中心に世の中を見ているのだと思います。誰もがいろいろな人との関わり合いの中で生きていますが、子育てに限らず、あらゆる場面において自分の基準だけで考えるのではなく相手の状況、立場、考え方等に配慮しながら接していくのが大切だと再認識しました。

子育ては何よりの人生勉強だと思います。もしかしら子ども以上に、親の方が成長させてもらっているのかもしれない。子どもを通じていろいろな気付きを得ていることに感謝する今日この頃です。



感謝!!

カリスマ・ベビーシッターの 0歳からの子育てルールブック

著者 : フロスト, ジョー【著】(Frost, Jo)
早野 依子【訳】
価格 : ¥1,470 (税込)
出版社 : PHP 研究所



FAVORITE : お気に入り

今回は、大阪で6店舗を展開する焼肉「但馬屋」をご紹介します。

日本一の店を目指す 焼肉「但馬屋」

お肉大好き人間の私が、一番にお薦めしたい焼肉屋さんが、今回ご紹介する「但馬屋」です。初めて行ったのは、もう7年ぐらい前だったと思いますが、その時は



▲営業部長の西宇さんと

約2時間半並びました。6人以上でない予約が取れないとのことで、何とか並びました。6人以上でない予約が取れないとのことで、何とか並びました。6人以上でない予約が取れないとのことで、何とか並びました。

行列ができるだけあって、肉の質も価格も雰囲気も大満足。当時3店舗だったお店も現在は6店舗になり、来月には7店舗目となるお店が新しくできるJR大阪三越伊勢丹の中にオープンする予定です。

予約を取りたい方は、私まで遠慮なくお申し付けください。

詳しくはホームページで

公式サイト ▶ <http://www.tajima-ya.co.jp/>

但馬屋 焼肉

で

検索